

学校法人北里研究所報

北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年/
新日本銀行券発行記念式典

北里研究所旧本館（博物館明治村）



北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年記念事業
 北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年/
 新日本銀行券発行記念式典を挙行了たしました。

7月21日(日)、オークラ東京（東京都港区）にて、北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年／新日本銀行券発行記念式典を執り行いました。式典では、厚生労働省の武見敬三大臣とローベルト・コッホ研究所（ドイツ）のラース・シャーデ所長からご祝辞を賜り、その後記念講演が行われました。



記念講演では、大村 智特別荣誉教授が「北里柴三郎先生の青雲の志」と題し、北里柴三郎博士の生涯や功績などについてお話ししました。当日の講演録を作成しています。日本銀行発券局の金沢敏郎局長には「日本銀行券の改刷について」と題し、新紙幣発行開始日の日本銀行での様子や新紙幣に使われている技術などについてご講演いただきました。

続いて、浅利靖理事長が「未来につなぐ志」として、北里研究所と北里大学の歴史や、北里研究所のこれからのビジョンなどについてお話ししました。



式典後は祝賀会が行われ、来賓・学内関係者による鏡開きや、6月に初演を果たした『北里柴三郎物語 オペラ「ドンネルの夢」』の出演者の方々に、北里博士の生涯をテーマとしたオペラの一部をご披露していただく余興などが行われました。最後まで多くの方にご参加いただき、盛会裏に終了しました。



《浅利靖理事長開式の辞》

皆様、本日はご多忙のところ、そして大変暑い中、お集まりいただき、北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年／新日本銀行券発行記念式典に多数のご臨席を賜り誠にありがとうございます。本日は厚生労働大臣の武見敬三先生、ドイツのローベルト・コッホ研究所よりラース・シャーデ所長はじめ、多くの来賓の皆様にご臨席賜り、重ねて深く感謝申し上げます。本年は、北里柴三郎博士が、現在の北里大学白金キャンパスの地に北里研究所を創立してから110年という記念すべき年にあたります。その記念すべき年に、北里柴三郎博士が肖像として採用された新日本銀行券の発行という、我々にとって大変嬉しい出来事が重なりました。そして2024年7月3日、その新日本銀行券の発行の日に、記番号AA000003AA番の新千円札を日本銀行様より贈呈いただきました。本日、金沢敏郎発券局長にもご臨席いただいておりますが、改めて贈呈に対し御礼申し上げます。誠にありがとうございます。なお当該の新千円札につきましては、式典会場



を出た廊下奥に、同じく日本銀行様から贈呈いただいた、新千円札の北里柴三郎博士のコンテ画と共に展示しております。後程ご覧いただければと存じます。

また、本日は一万円札の肖像となられた渋谷栄一先生ゆかりの団体、渋谷栄一記念財団より樺山紘一理事長、渋谷鶴子業務執行理事、渋谷記念館の井上潤顧問、五千円札の肖像となられた津田梅子先生ゆかりの団体、津田塾大学より島田精一理事長、高橋裕子学長にもご臨席いただいております

さて、110年前の北里研究所の開所式の挨拶で北里柴三郎博士は、「当研究所の事業もその発展に伴い、独り医学或いは衛生上のみならず他の領域迄進入しまして、農業、水産、工業其の他に迄も我が微生物の研究

を応用して国家、社会に貢献したい」と述べられております。正に現代の学際的研究に通じる先見性を表したものだと思います。我々はこうした北里柴三郎博士の教えを、『開拓、報恩、叡智と実践、不撓不屈』と表し、現代に受け継いでいるわけですが、今改めて北里柴三郎博士に思いを馳せ、師の後を追わず師の求めたる道を求める北里研究所・北里大学であり続けることが我々の使命であろうと思います。本日はこの後、本法人の最も印象的な出来事として歴史に刻まれております、2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞された北里大学特別栄誉教授の大村智先生、日本銀行金沢敏郎発券局長にご講演いただきます。お二人のご講演を通じて、北里柴三郎博士の想いと歩みに触れるとともに、我々の目指す未来を考える、そんな時間を皆さまと過ごすことを楽しみにしております。

結びに、本日ご臨席の皆様のご健勝とご発展を祈念するとともに、今後とも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

《砂塚敏明学長閉式の辞》

皆様、本日はご多忙の中、また大変暑い中、北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年／新日本銀行券発行記念式典に多数のご臨席を賜り誠にありがとうございました。今般の記念式典開催に際し、ご来賓の皆様、あるいは祝電等により多くのお祝いのお言葉を頂戴しましたこと、また今般の記念式典が皆様のご尽力によりつつがなく執り行うことが出来たことに対し、改めて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

先ほどの講演では、私の恩師であります大村先生から「北里柴三郎先生の青雲の志」と題して、偉大な人

物である北里先生がどのように育てられたか、また北里先生が人物形成にどのように努力されてきたか、そして教育論等、これまでほとんど知られていなかったことをご紹介いただくなど、新たな発見もありました。大村先生、ありがとうございました。また日本銀行金沢敏郎発券局長からは、「日本銀行券の改刷について」と題し、この度の新日本銀行券の発行の目的や特徴、そしてキャッシュレスの波が押し寄せる時代にあって改めて紙幣の大切さを知ることが出来ました。ありがとうございました。改めてご講演いただきましたお二人に感謝申し上げます。

先ほど、浅利靖理事長より、「未

来につなぐ志」と題して、我々北里研究所・北里大学の未来についての話がありましたが、私は学長として、本日の式典を通じ、北里柴三郎博士から連綿と続く北里の学統を我々がしっかりと受け止めて、そして次の世代へ学統を受け継いでいかなければいけないと改めて決意したところでもあります。本日の良き日を皆さま



と迎えられたことに感謝し、また今日この日の一つの出発点として、我々北里研究所・北里大学は学祖北里柴三郎博士の実学の精神をこれか

らも大切に、そして浅利理事長とタッグを組んで、教育・研究・医療の分野で社会に貢献し続けていきますので、引き続き皆様のご指導・ご

鞭撻、そしてご支援を賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

《高橋明義副理事長閉会の辞》

皆様、本日は日曜日にも関わらず、北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年／新日本銀行券発行記念式典・祝賀会に、錦上に花を添うがごとく多数のご臨席を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。おかげさまで、先ほど記念式典を格調高く挙行することが出来ました。

北里研究所創立110周年の記念すべき年に、学祖北里柴三郎博士が肖像として採用された千円紙幣が発行されたことは、北里研究所・北里大学で働く私共にとって実に誇らしく、素晴らしいお祝い事でございます。多くの北里人が、この喜ばしいめぐりあわせに感慨無量の面持ちでいることでしょう。

今年学祖生誕171年でございま

す。先ほどの式典では、大村智先生から北里柴三郎博士にまつわるお話を、日本銀行金沢敏郎発券局長様には紙幣にまつわるお話をいただきました。そして、北里研究所理事長の浅利靖は、北里精神を基盤とする北里の未来を展望いたしました。先ほどの式典およびただいまから始まる祝賀会は、北里の歩みを振り返りつつ、新千円紙幣の発行を好機として、北里のこれからのために、叱咤激励を北里内外の皆様から頂く場でもございます。祝賀を超えて、北里研究所・北里大学のさらなる飛躍のため的一步を皆様と共に歩みだす、その、新たな挑戦への意気込みを察していただくことが出来れば、主催者として本望でございます。

本日は皆様とこの良き日を祝し、



実りあるひと時を共有するためささやかではございますが宴席を設けていただきました。交流を通じて皆様との絆が更に深まることを願っております。

最後に改めまして、ご臨席いただきました皆様へ厚く御礼申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

《浅利靖理事長閉会の辞》

皆様、本日はご多忙、そして大変暑い中、誠にありがとうございます。第一部では、武見敬三厚生労働大臣、そしてローベルト・コッホ研究所のラース・シャーデ所長にご祝辞をいただきました。誠にありがとうございました。そして大村先生のお話は、なかなか聞けないお話でしたので、貴重なお話を聞いて非常にありがたく思っております。そしてF券のこ



とについて金沢敏郎発券局長からお話をお伺いすることができ、タイムリーで非常にうれしかったです。祝賀会では、オペラ「ドンネルの夢」の一節として歌をご披露いただきましたが、非常に素晴らしいものをご披露いただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、北里柴三郎博士のご友人に京都帝国大学の総長などを歴任した、荒木寅三郎先生という方がいらっしゃいました。この荒木寅三郎先生がドイツに行かれた時に北里柴三郎博士が語った言葉として、「君、人に熱と誠があれば何事でも達成するよ。能く世の中が行き詰ったと云ふ人があるが、これは大なる誤解である。世の中は決して行き詰まら

ぬ。若し行き詰ったものがあるならば、是は熱と誠がないからである。」ということを言われていました。

私たち北里研究所は、これからもこの言葉を胸に秘め、「実学の精神」で何事にも挑戦しながら熱と誠をもって突き進んでいきたいと思っております。是非これからも皆様方の温かいご声援と、ご支援ご鞭撻をいただければ幸いです。

それでは宴たけなわでございませうが、以上をもちまして北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年／新日本銀行券発行記念祝賀会を閉会とさせていただきます。誠にありがとうございます。



学校法人北里研究所報 臨時号（北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年記念事業）
発行／学校法人北里研究所 企画・編集／総務部 広報課